

山 兼 待



大阪大学経済学部同窓会

2017年（平成29年）4月1日 第33号

ホームページ <http://www.machikaneyama.jp>

科学技術の時代における 人文社会科学の役割

同窓会名誉会長
経済学研究科長・経済学部長

堂目 卓生

一昨年の8月に経済学研究科長・経済学部長に就任して以来、同窓会のみなさまから多くのご支援と励ましの言葉をいただきました。心から感謝いたします。

就任以来、国立大学における人文社会科学の必要性を訴えなくてはならない場面が何度かありました。この問いに対して、私は以下のように答えたいと思います。

私は、大学とは「文明を継承する場」であり、文明の背後には「命への願い」があると思っています。

最近の人類学によれば、現在の人間のすべては、20万年前に発生したホモ・サピエンスを同一の先祖とします。人間は、他の種と比べて知性が著しく発達していました。知性に目覚めた人間が知ることになったことの中で、最も重要な事実は、「誰もがいつかは死ぬ」ということ、つまり命の有限性ではなかったかと思えます。どんな命にもかならず終わりが来る、自分もその運命から逃れることはできない。人間は、この事実を知って、それでも生きていかななくてはならなくなりました。

命には終わりが来るものの、その終わりがいつくるか分からない。一人一人の寿命は前もっては分からないし、病気や事故によって死ぬこともある。さらに深刻なことには、生まれてきた命が生き延びるための自然資源、特に食料は不足している。自然は、人間に必要な資源を土地や海の奥底に隠していて、人間が労働しなければ取り出すことができず、したがって、人間は常に餓死の危険性にさらされている。

このように、知性に目覚めた人間は、「死」を知ることによって「命」を知ったのであり、命の儚さを知ることによって尊さを知ったのです。

命の有限性を知った人間は、自分や自分の家族、生きていて欲しいと願う仲間の命を少しでも引き延ばそう、生存確率を少しでも高めようとなりました。食料を確保し、風雨や災天をしのぎ、猛禽類などの外敵から身を守るなど、生きていくために、さまざまな手段を講じました。こうした創意工夫の中で、人間は道具を使うことを覚え、技術を磨き、言葉を用い、知識として蓄積し、伝承するようになりました。これが文明の起源だと思えます。文明とは命の有限性を知った人間、他の生き物と比べて知性以外に優位な能力をもたない人間が、自分と仲間の命を延ばすために工夫を繰り返した結果生じたものです。したがって、文明の奥底には、「命への願い」が込められていると言えます。

近年における科学技術、特にIT技術や生命科学の進歩には目覚ましいものがあり、今後、この進歩は加速することが予想されます。それとともに、科学技術を人間社会にどう用いていくか、科学技術を用いて互いに命を縮めたり奪ったりするのではなく、互いに命を伸ばし輝かせるためにはどうしたらよいか、という問題が益々重要になってくるでしょう。まさしく、この問題に答える責務を持つ学問が人文社会科学なのです。グローバル化の波によって動揺する世界を前に、人文社会科学、とりわけ経世済民の学である経済学の責務は益々重くなると思えます。300年の歴史の中で練り上げられてきた経済学は、精密さの点で社会科学の中で群を抜いています。この利点を活かしながら、他の学問と連携し、社会の諸課題に向き合っていくなくてはならないと思えます。

大阪大学経済学部は平成30年に70周年を迎えます。これまでの輝かしい歴史に対して誇りを持ちつつも、新たな時代における新たな使命を果たすことができるよう、研究と人材育成を進めていきたいと思えます。

今後、経済学部同窓会のみなさまとのより深い関係を築けるよう全力を尽くす所存です。みなさまのご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

「第22回大阪大学経済学部同窓会総会・懇親パーティー」のご案内

日時 7月1日(土) 14時より受け付け 会場 リーガロイヤルホテル大阪 光琳の間(タワーウイング3階)
(大阪市北区中之島5-3-68 TEL06-6448-1121)

14時30分～ 同窓会総会

15時15分～ 記念講演 大阪大学総長 西尾章治郎先生

16時30分～ 懇親パーティー (18時30分終了予定)

会費 事前振込 5,000円、当日 6,000円

※同窓生の皆さまの、奮ってのご参加をお待ちしています。



同窓会長ごあいさつ

全要素生産性の向上で、働き方改革を

経済学部同窓会 会長 古川 実
日立造船(株)取締役相談役 (新14期)

同窓会報「待兼山(第33号)」の発行に当り、一言ご挨拶申し上げます。まず、同窓会活動への皆様のご理解とご協力に心よりお礼申し上げます。

さて、政府が発表した2016年10月～12月期の国内総生産(GDP)の速報値は実質年率換算で1.0%増と4四半期連続のプラスとなりました。2017年4月からの消費税再引上げを2019年10月へ延期したことにより、漸く経済にも明るさが出てきましたが、2020年における基礎的財政収支(プライマリーバランス)は依然として8兆円以上のマイナスと試算されており、我が国経済の構造改革はいよいよ待たないとなつてきています。完全失業率が3%となり既に人口減少社会に突入している我が国では、生産年齢人口の減少が経済成長の制約要因とならないよう人口減少を好機に変える多様な人材の活躍推進と生産性の向上が極めて重要であります。安倍内閣では人口減少を食い止め、2060年に1億人の人口を維持する1億総活躍社会を目指しています。人口減少社会において財政改革と社会保障を持続的なものとするためには経済成長を実現する成長戦略が必要ですが、2020年にGDP600兆円経済を実現する政府の戦略は大きく次の二つであります。対内的には働き方改革であり、対外的には自由貿易の推進であります。

まず、働き方改革であります。その肝は①同一労働同一賃金であり、②長時間労働の是正であります。人口減少社会において、今後益々増大が予想される仕事と介護の両立、外国人を含めた多様な人材の一層の活躍促進、労働時間で賃金を決定しないホワイトカラーイグゼンプション等を包含する働き方改革には生産性の向上が不可欠であります。生産性の向上の中でも特に大事なものが全要素生産性の向上であり、その実現方策の一つが研究開発を通じた技術進歩であり、もう一つが生産性の高い産業へ常に経営資源を再配分していくことでもあります。この生産性向上によって実現した付加価値の労働への適正な配分を通じてのみ働き方改革は実現するのです。今や研究開発は、その規模とスピードにおいてすべてを一企業で実行することは不可能となつてきています。自動車産業界では自動運転技術開発およびEV、FCVの開発は自動車各社がアライアンスを組み、オープンイノベーションを推進し、各グループがディファクトスタンダードを狙いししのぎを削っています。また、自動

運転技術については、グーグルのような全く違った業界からの参入も予想されており、研究開発のスピードアップにはシリコンバレーのようなベンチャー育成の土壌が大変重要であります。現在、我が国のベンチャーキャピタルの規模は米国の1/10以下であり、今後この拡大のためには失敗を許容する風土の醸成が不可欠です。また、企業においては低採算事業、赤字事業からの撤退を果敢に実行し、所謂ROE経営の実現を図っていくことも重要であります。我が国の企業経営者は研究開発の重要性と低採算事業、赤字事業からの撤退の必要性については十分認識しており、これからは世界の競争に負けないう一層のスピードアップが求められています。

もう一方のTPPに代表される多国間の自由貿易推進による経済成長については、この1月20日に就任した米国のトランプ大統領の一方的なTPP離脱宣言により暗雲がたれこめていますが、我が国としてはその重要性と戦略性について時間をかけて米国を説得していく必要があります。トランプ大統領による「米国第一主義」に基づく二国間交渉が主流となってくれば1970～1980年代への逆戻りになりかねません。今や、世界経済は相互関連性、相互依存性が益々増大しており、自由貿易体制の推進を後退させてはなりません。自由貿易体制の維持推進こそが我が国の経済発展、ひいては世界経済の発展を支えているのです。それにしても心配されるのが、今後のBREXITの行方、アメリカのトランプ大統領の当選で更にクローズアップされた移民問題を争点とする4月末から5月にかけてのフランス大統領の選出、本年秋のドイツの総選挙の行方であります。選挙の結果によっては正に自由貿易体制が危機に瀕します。また、隣国韓国の動向、中国、ロシアの政治的な動きにも注目する必要があります。このように本年の政治の世界は予測が非常に困難であります。企業人にとっては自らに与えられた使命を実行することが何よりも肝要であります。それは生産性向上をリードし、働き方改革の先頭に立つことでもあります。来年平成30年に大阪大学経済学部は創立70周年を迎えます。大阪大学経済学部の今後益々の発展を期待してやみません。

最後にこの会報が皆様のかげはしとなることを願い、来る7月1日の同窓会総会での再会と、皆様のご健勝を祈念してご挨拶とさせていただきます。

東京待兼会だより

会長 久保 恵一 (新24期)

東京待兼会では、首都圏の同窓の交流促進のため、様々な活動を行っています。

1. 講演会・懇話会

法学部同窓会（青雲会）と共催。春季はOFC（経済学部オープンファカルティセンター）とも共催です。

【第15回総会・春季懇話会】

5月27日 学士会館にて開催。総会50名、懇話会70名参加
堀江正彦氏（外務省参与・地球環境問題担当大使）「地球温暖化COPの歴史とパリ協定～パリ協定をめぐる外交の裏側」



【秋季懇話会】

10月16日 日本教育会館にて開催。50名参加
西畑一哉氏（学校法人二松學舎常任理事、元日銀参事役）「反社会的勢力の現状と問題点～金融機関との関係を中心に」

2. 期別幹事の集い

11月10日 フレンチ・イタリアンパーティ（渋谷ビストロクーハナレ）14名参加

3. 例会

「知の継承」をめざし、大阪大学東京オフィスで開催。毎回10～20名が参加。講師は原則、同窓の持ち回りです。

- 第1回 3月17日 井上義教氏「マイナンバー制度の概要」
- 第2回 6月14日 久保恵一氏「巨額粉飾事件とその対策」
- 第3回 7月25日 河野光輝氏「沖縄経済/金融・不動産の動向について」
- 第4回 9月23日 村尾公孝氏「強い組織と管理者の条件～キャノンの組織開発の現場から」
- 第5回 11月17日 漆戸啓二氏「ウコンについてあれこれ～意外と知らないウコン」
- 第6回 12月24日 小浜正幸氏「中東とアメリカ～中東情勢を考える」
- 第7回 1月14日 西本麗氏
「SDGsと企業の貢献～新たなCSR経営」

4. ゴルフ部会

- 第31回コンペ 9月10日 昭和の森ゴルフコース 3組
- 第32回コンペ 12月7日 泉カントリー倶楽部 3組
- シニア大洗ツアー 3月14日～15日 2組
- シニア軽井沢ツアー 8月24日～25日 3組
- 第12回初打ちコンペ（第5回経法工対抗戦）
1月7日 昭和の森ゴルフコース11組



告知

東京待兼会総会（春季懇話会）を開催します

日時：5月31日（水）18：00～

場所：学士会館（千代田区神田錦町3-28）

講師：白井正樹氏（大阪大学大学院経済学研究科 講師）

テーマ：「日本経済の再生に向けて～アベノミクスをどう評価し、見直すべきか」

名古屋待兼会だより

会長 近藤 俊雄 (新12期)

名古屋待兼会は、経済学部、法学部の卒業生を中心に昭和30年代に発足、現在は理系学部卒業生も対象とする東海地区の阪大卒業生の同窓の集いです。

会合は「小の月の第三土曜日の18時から」を基本に、名古屋の中心部に近いホテルで開催しています。11月に総会、他の月は例会として開催しています。毎回20名強の出席があり、例会の冒頭では会員が交代で色々なテーマで約30分話をし、その後は懇談としています。ほぼ全学部の卒業生が顔を揃えることもあり、年5回の会合があるからこそ交流を深めることができる、これも名古屋待兼会の特色の一つです。

昨年11月の総会では堂目経済学部長をお迎えし、ご講演をいただきました。

今年9月には名古屋で初の開催となる大阪大学の集いが計画されています。この集いをきっかけに名古屋地区の卒業生の輪がさらに広がることを願っています。

名古屋待兼会では、新たな会員の参加を心よりお待ちしております。（同窓会事務局までご連絡ください。）

- 2月例会「憲法大臣－金森徳次郎」
高木浩司さん（S55人科）
- 4月例会「日本の再帰性とクールジャパン」
中西真知子さん（S51人科）
- 6月例会「私の散歩道＋？」
平野修義さん（S37法）
- 9月例会「マイナス金利下の資産運用」
井上智さん（H6法）
- 11月総会

経済学部長の堂目卓生先生をお迎えし、経済学部・経済学研究科の近況と展望についてご講演をいただきました。



期会、ゼミ会だより

新制5期(昭和32年卒)「一水会」 第180回記念例会(年忘れコンサート)

「一水会」とは、昭和28年の大阪大学法経学部の入学者の集まり。昭和53年に開催された経済学部同窓会活性化に参加していた5期生による声掛けでスタートした。入学時は法経学部であったため、法学部卒業生にも声を掛けようということになり、まず梅田周辺に勤務するメンバー7名で、昭和54年に活動を開始。偶数月の第一水曜日に集まることになり、会の名称も「一水会」と決まった。

賛同者も増え、最盛時には80名に達し、東京にも支部が出来たが、高齢化等により、現在会員数は40名を下回っている。開催も年4回になったが、200回開催を目指して頑張っている。

「一水会」第180回記念例会(年忘れコンサート)を昨年12月7日、リーガロイヤルホテルで、堺シティオペラからオペラ歌手を招いて開催した。参加者は28名。オペラ歌手の素敵な歌を聴きながら、おいしい料理をいただき、クリスマスソングを合唱。学生時代に帰って楽しい時間を過ごした。



東京在住・蛸山ゼミ卒業生のミニ同窓会

1月27日、銀座ライオン LEO TEKKO avenue店にて、東京在住の蛸山ゼミ卒業生のミニ同窓会を開催した。参加者は、昭和49年から62年卒の13名。遠路はるばる金沢からの参加者を含め、お互いに初対面、あるいは久しぶりに再会した先輩・後輩、卒業以来の再会となる同期などが集い、和やかで楽しいひとときとなった。次回はさらに輪を広げ、よりたくさんの方との交流を願いつつ散会した。



「期会・ゼミ会だより」は、
同窓会ホームページにも掲載しています。

同期会の開催等の会員情報が必要な方は、
同窓会事務局までお問い合わせください。

新制6期(昭和33年卒)「33会」

昨年11月22日、大阪マルビル内「桂」にて「33会」を開催。11名の仲間が参加し、旧交を温めた。満92歳になられた藤田晴先生をお迎えして「私の終活論」についての特別講義(?)をお聞きし、全員八十路を迎えた私どもにとって参考になるところ大であった。

卒業後58年にして初めて同期会に岡山から参加した者もあった。寄る年波には勝てず、出席者は年々減少気味ではあるが、当分は続けることとし、来年の再会を約して散会した。



新制13期(昭和40年卒)同期会

毎年恒例の「13期同期会」を、2月24日、大阪大学中之島センター・交流サロンにて開催し、熊本から出席の甲斐氏も含め、18名の仲間が集った。今年から参加者の年齢も考慮してランチタイムでの開催(12時から14時)とし、buffet方式ながら4つの円卓を囲み、椅子に座って和気あいあいの歓談となった。

なお、来年は暖かくなってからという声があり、平成30年4月20日(金)に開催する予定である。



宮本匡章ゼミ同窓会

昨年6月28日、江坂のサニーストンホテルにて、宮本匡章ゼミ同窓会を開催した。遠く金沢からご参加くださった宮本先生は、杖はついておられるものの、顔色も良く、とてもお元気そうであり、卒業生一同再会を喜んだ。

宮本先生は、前回同窓会の翌年に黄綬褒章を受章され、ゼミ生一同、とても嬉しく誇らしく思っている。先生は園遊会の様子をお話しくださり、卒業生も一人ずつ近況を報告した。



新幹事紹介



65期代表幹事
岸本 智弘

この度、同窓会65期代表幹事を務めさせていただくことになりました、岸本智弘と申します。

経済学部で過ごした4年間は、とても楽しく充実したものでした。特に、私は1回生の時から同窓会学生会（ECOCA）の運営メンバーとして活動し、入学時に想像していた以上の経験を得ることができました。同期だけでなく、先輩や後輩と様々な活動に携わり、人間的に大きく成長できたと思います。また、ゼミでは、論文執筆や飲み会で交流を深めることができました。ECOCAやゼミの活動を通して、尊敬できる先生や先輩方、素晴らしい同期・後輩たちと出会い、充実した日々を過ごすことができ、本当に感謝しています。卒業後もこれまでのつながりを大切にしてい

きたいです。

同窓会の先輩方には、OBOG交流会やゼミ、就職活動の際に貴重なアドバイスをいただき、大変お世話になりました。先輩方との出会いは大学生活の大きな財産であり、今度は後輩たちの役に立てるように、社会人として精進したいと思います。

こうして代表幹事を務めさせていただくのは、大学生活でのつながりをさらに深め、経済学部という共通点から新たなつながりを生む、良い機会だと考えております。同窓会の更なる発展のため、微力ながら自らの努めを果たしてまいります。

皆様には引き続きお世話になることと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

平成28年度経済学部卒業生就職先 (大学院卒を含む)

(順不同)

就職先	人数	三菱電機(株)	2	(株)京都銀行	1	L I N E (株)	1
内閣府	1	富士通(株)	1	(株)広島銀行	1	(株)ワークスアプリケーションズ	1
金融庁	1	ソニー(株)	1	(株)琉球銀行	1	JBSテクノロジー(株)	1
財務省近畿財務局	1	(株)キーエンス	1	(株)名古屋銀行	1	レバレジーズ(株)	1
総務省近畿管区行政評価局	1	日本電気(株)	2	信金中央金庫	1	(株)S p e e e	1
海上自衛隊	1	メルココントロールバルブ&コンポネント	1	農林中央金庫	3	日本コロムビア(株)	1
大阪府庁	2	(株)日本ネットワークサポート	1	日本生命(相)	2	(株)東横イン	1
三重県庁	1	(株)島津製作所	1	三井生命保険(株)	1	アクセンチュア(株)	1
香川県庁	1	キヤノン(株)	1	大同生命保険(株)	1	あずさ監査法人	1
磐田市役所	1	日産自動車(株)	1	ソニー生命保険(株)	1	アビームコンサルティング(株)	1
神戸商工会議所	1	トヨタ自動車(株)	2	オリックス生命保険(株)	1	アンダーソン・毛利・友常法律事務所	1
(独)大学入試センター	1	ダイハツ工業(株)	1	(株)かんぼ生命保険	1	新日本有限責任監査法人	1
(株)大林組	1	本田技研工業(株)	1	東京海上日動火災保険(株)	1	テロイト・マツコンサルティング(株)	1
クモスコポーレーション(株)	1	(株)シマノ	1	損保ジャパン日本興亜(株)	1	テロイト・マツファイナンシャルアドバイザー(株)	1
中央復建コンサルタンツ(株)	1	エンゼルプレイングカード(株)	1	三井住友海上火災保険(株)	1	有限責任監査法人トーマツ	3
日本たばこ産業(株)	1	双日(株)	1	(株)アドバンスクリエイト	1	(株)リクルートアドミニストレーション	1
麒麟ビール(株)	1	伊藤忠商事(株)	3	野村證券(株)	1	(株)リクルートキャリア	1
サントリーホールディングス(株)	1	丸紅(株)	1	大和証券(株)	3	(株)トライグループ	1
サントリー食品インターナショナル(株)	2	三井物産(株)	1	三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株)	1	(株)マルハン	1
日清製粉(株)	1	三菱商事(株)	1	近鉄グループホールディングス(株)	1	(株)ムビン・ストラテジック・キャリア	1
日清フーズ(株)	1	アズワン(株)	1	西日本旅客鉄道(株)	2	ソウルドアウト(株)	1
宝酒造(株)	1	伊藤忠丸紅鉄鋼(株)	1	日本貨物鉄道(株)	1	(株)ジーライオン	1
(株)宝幸	1	三ツ矢貿易(株)	1	三菱倉庫(株)	2	(株)ゼネラルパートナーズ	1
帝人(株)	1	(株)千趣会	1	(株)住友倉庫	1	就職計	162
東レ(株)	1	スリーエム ジャパン(株)	1	中部電力(株)	1		
三菱ガス化学(株)	1	(株)ニトリ	1	大阪ガス(株)	3	進学先	人数
中外製薬(株)	1	(株)万代	1	J X エネルギー(株)	1	大阪大学大学院	10
三菱マテリアル(株)	1	(株)I D O M	1	(株)日本経済新聞社	1	一橋大学大学院	1
住友電気工業(株)	1	日本郵政(株)	1	(株)NTTドコモ	1	東京大学大学院	1
(株)クボタ	1	日本郵便(株)	1	日本アイ・ビー・エム(株)	1	進学計	12
ダイキン工業(株)	1	(株)みずほフィナンシャルグループ	4	(株)野村総合研究所	1		
マキタ(株)	1	(株)みずほ銀行	3	みずほ情報総研(株)	1	合計	174
日立造船(株)	1	(株)三井住友銀行	8	みずほ総合研究所(株)	1	未回答・その他	106
三菱日立パワーシステムズ(株)	1	(株)三菱東京UFJ銀行	2	フューチャーアーキテクト(株)	1		
ブラザー工業(株)	1	三井住友信託銀行(株)	2	伊藤忠テクノソリューションズ(株)	1		
(株)日立製作所	1	三菱UFJ信託銀行(株)	1	(株)Avirity Information	1		

平成29年2月末現在、大学で集計されたデータをもとに作成したものです

「糸びす男選び@阪大坂」 新春の新風物詩の仕掛人は？



過去のレースシーン (Facebookより)



阪大坂の近況「イノシシ出没注意」の看板も

豊中市と池田市が接する通称：阪大坂（正式地名：玉坂）、学生時代しばしば力尽きてUターン（＝サボって石橋駅方面へ）したのですが…。この坂で毎年1月に行われているのが「糸びす男選び@阪大坂」。300mの坂を脚に自信のある？参加者たちが駆け上がって行きます。

西宮神社の開門神事「福男選び」を模したイベントは、すでに11回を数え、テレビニュースでも取り上げられるなど、地域の新春イベントとしてすっかり御馴染みに。ことしは1月8日（日）朝7時半に出走。大人の部・小学生以下の部と合わせて約100人が参加しました。

本家？の西宮神社にはない急坂を上りきるには持久力が必要となりますが…、速いのはやはり、駅伝サークルの学生や地元の消防職員…だとか。ここの「糸びす男」と「糸びす女」は、工学部と理学部の阪大生が福をつかみました。ゴール地点では、もちつき大会が催され、つくたてアツアツの餅がふるまわれます。

この名物イベントを共同で企画・運営するのが、石橋商店街と経済学部の松村真宏ゼミ。大学と石橋駅前を隔ててきた坂でのイベントで「阪大坂」を大学の新しいシンボルに、阪大とのコラボで商店街に一層のにぎわいを、という共通の思いの中で2007年に始まりました。商店街をフィールドに様々な実験をしている中で「タローパン」店主の堤洋一さんが漏らした「阪大坂でレースをしたら面白いのでは」という一言がきっかけになったということです。

松村真宏准教授は「仕掛学」などの著作で知られています。人はどのような仕掛けから影響を受け、行動を変化させるのかを研究、「データマイニング」「テキストマイニング」などの授業を担当されています。研究室を訪ねると、情報・IT・マーケティングなどの書物と並んで、おなじみの「鳥居」など、仕掛けの道具がずらり。古代ローマの「真実の口」ならぬ「勇気の口」は、ライオンの口に手を入れると消毒液が吹きかかる仕組みで、ゼミ生らの手造りです。去年、天王寺動物園での実験に使われました。

「糸びす男選び」の舞台となる阪大坂は今、石畳が敷き詰められ、見違えるように綺麗になっています。訪れて驚いたのは「イノシシ注意」の看板！安全のため自転車も走行禁止となり、坂下には駐輪場が設けられています。

石橋商店街と松村ゼミでは、阪大坂の夏イベントとして「流しそうめん」も実施。繁茂し過ぎた街兼山の竹林から伐採した竹を30mの長さにつなぎ、学生や地元の方々に楽しんでもらっているということです。



石橋商店街「タローパン」付近



経済学研究科 松村真宏准教授、仕掛け道具とともに



「勇気の口」

の最新トピックス

「中之島アゴラ構想」基本方針案まとまる

大阪帝国大学創立の地で、現在は大阪市有地となっている北区中之島4丁目。この地を阪大の新たな活動拠点として文化・芸術・学術・医療の発信拠点を整備する「中之島アゴラ構想」の基本方針案がまとまりました。

アゴラとは広場の意味。企業や社会と連携した拠点づくりの意味が込められました。

阪大が去年、大阪府と市に提案したことを受けて、関西財界を交えた「中之島アゴラ構想推進協議会」で検討が進められています。

同じ4丁目には創立70周年事業で2004年に完成した産学連携活動の拠点「阪大中之島センター」が隣接しています。

医療での産学共創の目玉となりそうなのが、iPS細胞を活用した再生医療の国際拠点づくり。

東隣には、大阪市が2021年の開館をめざして新しい美術館を建設予定です。この美術館とも連携し、内外芸術家を集めて作品を展示する施設なども構想されています。

大学創立90年となる2021年の実現を目指し、会報が届くころには、さらに具体的な計画がまとめられる見通しです。



中之島センター左手が『アゴラ構想』計画地、大阪市新美術館が隣接します



箕面キャンパスが 新船場地区・北急新駅前に移転

外国語学部のある箕面キャンパスが、2021年春に箕面市内の新船場地区に移転します。

同時期に新箕面駅（仮称）まで延伸される北大阪急行の箕面船場駅（仮称）が新キャンパスの西隣に開業予定で、ことし1月その延伸工事が着工されました。

大阪外国語大学時代の1979年に大阪市内の上本町から現在の箕面市粟生間谷地区に移転後40年余り、2007年の阪大との統合から14年後に、阪大初の駅前都市型高層キャンパスに生まれ変わります。

豊中・吹田両キャンパスの中間に位置するので、学内アクセスは大幅に改善。北大阪急行は地下鉄御堂筋線と直通し新大阪・梅田・なんばと直結されます。

繊維団地として知られる新船場地区は、箕面市の主

導で再開発が進められています。学生と市民が一緒に利用できる図書館や市民ホールなどが整備され、若者たちで賑わう文化と情報の拠点に変貌することに。

箕面キャンパスの跡地は等価交換の形で箕面市に移管され、有効利用が図られます。



新箕面キャンパスのイメージ



吹田・豊中キャンパスとの位置関係

第4回経済学部同窓会セミナー&懇親会

3月2日 ガーデンシティクラブ大阪

講師 経済学研究科・小林敏男教授 「アメリカを考える：経営学の視点から」

大量生産国家誕生の背景には、南北戦争以降の熟練労働者不足がありました。親方と弟子によるヨーロッパ型生産方式からの脱却、F.W.テラーが生み出したのが「科学的管理法」。熟練労働者の作業を「単位動作」に分解し課題を標準化、「格差出来高賃率」「機能別職長制」が導入されます。フォードは移動組立ラインを実現。大量生産は大量消費を生み、マーケティング手法が洗練されていきます。

そして現代のIT革命。IBM互換機の時代を経てインテル「PCイバス」による標準化。規格をオープン&フリー化、普及を推進したことで、業界標準化に成功、ネットワークやモバイルという新たな利用形態を発展させたのです。

もう一つ圧倒的な強みを見せる医薬品業界。ギリアドサイエンシズ、アムジェンといった成長著しい企業が目につきます。官民挙げての「創薬プラットフォーム」では、新たな協力プログラムを設立。オバマ大統領が発表した「プレジジョンメディシン」は、遺伝子や環境など個々人の違いを考慮した

予防や治療をめざします。

トランプ大統領の経済政策はどうか。内需拡大型成長による雇用増・株高・不動産高をめざし、外国メーカーには、工場のアメリカ現地化を求めています。一方で公共投資の増大は財政赤字拡大、金利上昇、ドル高を招き、IT、創薬産業以外の国際競争力をさらに失うことも。ポストトランプのアメリカ経済は、リーマンショック後の状態に再び陥る可能性もはらんでいるのです。

現在も人口増加を続けるアメリカは、多様性を原動力に「標準化」技法が身につけているのが強みだと実感できました。移民国家ならではの歴史と未来を分析した興味深い講演に、会場を埋めた卒業生たちは、学生時代にも増して熱心に耳を傾けていました。

セミナー終了後は懇親会。山本信孝さん(新2期)の乾杯音頭で旧交を温めました。

～河添正己(新29期)記～



同窓会ゴルフコンペのお知らせ

恒例の「同窓会懇親ゴルフコンペ」を開催いたします。総会へのご参加にあわせ交歓の機会としたいと思っております。お誘いあわせのうえ奮ってご参加いただけますようお願い申し上げます。



日時：7月2日(日)

場所：関西クラシックゴルフ倶楽部

〒673-1123 兵庫県三木市吉川町湯谷567 TEL 0794-72-1231

集合：8:20 スタート8:49 午前 清水・午後 大洞コース 5組 予約済み

参加費：2万円程度(昼食代、プレー後会食費込み) 賞品代は同窓会から助成します。当日各自払いとします。

連絡先：大阪大学経済学部同窓会事務局

TEL 06-6850-5275(火・木・金の午後) FAX 06-6850-5276

E-mail machikane@econ.osaka-u.ac.jp



ダイビル株式会社
代表取締役社長

玉井 克実 さん
(新23期)

Q 社会人生活のスタートは？

大学卒業後、1975年に住友銀行に入行し、銀行生活の前半を大阪、後半を東京で過ごしました。配属先は、現在の勤務地であるダイビル本館に程近い中之島支店。建替前のダイビル本館にも多くの取引先があり、頻りに訪問しました。入行後5年間は、いわゆる外回り営業を担当。現在とは違い資金があれば運用できる時代でしたので、預金集めに走り回っていました。当時中之島にあった大阪大学本部や医学部なども担当し、職員の皆さんへの財形貯蓄制度導入にも携わりました。

Q 学生時代の思い出は？

最も強く印象に残っているのは、ゼミで師事した蠟山昌一先生のことです。当時、先生は30代前半。国の政策にも関与され始めた頃で、大学では、中谷巖先生や本間正明先生といった若い先生方と侃侃諤諤と議論されていました。先生に教えられたのは、「経済学」とは“生きた経済”を良くするための学問であり、決して「『経済学』学」であってはならない、ということ。日本経済がいかにあるべきかを常に考えておられた先生ならではの教えだと思います。

先生に住友銀行内定をご報告に行った時のことです。当時は、「銀行不倒神話」の時代で、特に都市銀行は人気も高かったのですが、先生の反応は「良かったね」の後、「そうか、銀行か…」とやや引っ掛かるトーンでした。

入行後10年と少し経った1980年代後半にバブル期を迎え、ピークの89年には世界の上場企業の時価総額のトップ10に住友はじめ6行の邦銀が入り、わが世の春を謳歌していました。しかし90年代に入ってバブルが崩壊し、銀行の膨大な不良債権の処理に続き、日本経済は「失われた20年」と未だ後遺症に苦しんでいます。今や往時の名前を残す都市銀行は1行として残っていません。改めて、蠟山先生の「そうか、銀行か…」の言葉を思い出してしまいます。先生は、市場型の金融システムの必要性、横並びの銀行による相対金融の限界を当時から強く意識してもらったのだと思います。

Q ダイビルも経済学部とご縁があったんですね

ダイビルには2003年に三井住友銀行から移りました。東京勤務が長かったのですが昨年4月社長就任時に40年前に社会人としてのスタートを切った中之島に戻ってきました。

当社は1923年に大阪商船(現 商船三井)と宇治川電気・日本電力(現 関西電力)によって設立されたビル賃貸業の老舗です。1925年には3社の本社が入居する大阪ビルヂング(現 ダイビル本館)を中之島に建設しました。戦後、ダイビル30年史を宮本又次先生に執筆いただき、また75年史ではご子息の宮本又郎先生に監修いただきました。親子2代にわたり宮本先生には大変お世話になっております。

現在26棟の賃貸ビルを所有するまでに成長しましたが、経営スタイルはきわめて堅実で、財務の健全性に常に留意し、着実な成長を心がけています。もちろんリスクをとらないわけではありません。たとえばかつて大阪最大の床面積を誇った新ダイビルが立っている土地は、戦後GHQの拘置所だった場所です。先人が何時かは占領が終わって日本に戻ってくるの強い信念の元、底地権を一軒一軒買い集めた結果、占領が終わり巨大なビルを建てることができました。最近ではベトナムへの進出があります。同業の一番乗りで、ハノイとホーチミンにそれぞれ大型ビルを所有しています。リスクの総量管理は厳格に行いつつ、ここぞという時は思い切ってやる、という企業風土だと思います。

今世紀に入り、不動産業界はパラダイムシフトが起っています。不動産事業の証券化がどんどん進み、都心のビルは投資家の資金運用の受け皿の役割を果たしています。不動産投資信託のJ-REITの時価総額は、今や世界第2位で10兆円に到達しました。先日、関係者の方からJ-REIT創設時に理論面で蠟山先生にぜひご支援いただいたと聞きました。この業界でも蠟山先生の功績に触れ、改めて先生の先見性に頭が下がる思いです。

Q 学生の皆さんにメッセージを

企業経営は時として大きな決断が求められます。

そのときどのような判断をするのか、拠り所となるのはやはり「経済学的な考え方」だと思います。

これも蠟山先生から教えていただいたことですが、「経済学の勉強は入社してすぐに何かの役に立つというものではないよ、でも君が重要な判断を任せられる立場になればなるほど“経済学的なものの考え方”が必要になってくるよ、だから今しっかり勉強しておいたほうがいいと思うよ」と。

最後に、蠟山先生が執筆された最初の著書「日本の金融システム」の表紙の裏に直々に書いていただいた先生の言葉(私にとっては故蠟山先生の遺訓)を学生の皆さんに贈ります。

「常識に溺れず 通念に囚われず

革新を求めて 進まれんことを」



株式会社エクソル
代表取締役社長

鈴木 伸一 さん
(新30期)

Q三菱電機に入社したきっかけは？

学生時代から電機業界に興味があり、就職するなら電機メーカーと決めていました。他社と迷ったのですが、最終的には、「自分の手でマーケットシェアを高めたい」と考え、三菱電機に決めました。

Q三菱電機ではどのような仕事を？

入社時の配属先は、換気扇や扇風機を製作する中津川製作所の商品企画・営業企画でした。三菱電機には「良い技術があれば商品は売れる」という空気がありましたが、中津川には、技術だけでなく、コンシューマーオリエンテッドの発想で商品を創り出すという風土がありました。扇風機的首振り機能やコンパクト収納も三菱電機が開発したものです。中津川の商品は、いわば羽根とモーターだけで出来ていますが、このような工夫により高い収益を上げていました。私は、浴室用換気暖房乾燥機の商品化等を担当しました。今ではすっかりスタンダードになっていますが、肌に気流を感じないように輻射ヒーターを取り付ける等、色々な工夫をしました。ここでは、お客さまのニーズを汲み取り、技術部門・営業部門等が一体となって製品を世に出していくという、ものづくりの基本を学びました。

中津川から、本社の電設資材・住設製品関連の事業部に異動になり販売政策企画を、その後、照明器具の商品企画等を担当しました。当時はインバーターが普及する前。オフィスには、電圧・周波数・発光体が異なる計12種類の蛍光灯が存在し、管理も煩雑になっていました。これをインバーター1種類に統一する「ランプフリー」を発表。業界でも大きな話題になりました。

その後、家電事業では、三菱電機の液晶テレビ第1号を担当。エアコン事業では、センサーを用いたゾーン別空調採用の「霧ヶ峰ムーブアイ」を、2004年10月に企画し発売しました。

Q次に本格的に太陽光発電に携ったのですね

エアコン新製品の発売のタイミングで再び電材・住設部門に異動し、本格的に太陽光発電に携わることになりました。

当初は海外向けが大半でしたが、国内でも徐々に認知度が高まり、私も事業計画部長として、更にその後は太陽光発電の販売企画部長として拡販に努めました。そして、東日本大震災が発生して、エネルギー問題が注目され、固定価格買取制度が導入されたことで、国内需要が3年間で一気に100倍にもなりました。

そのような中、2013年に業界団体である太陽光発電協会の事務局長に就任しました。震災以前の事務局長は「取りまとめ」的な仕事が多かったのですが、良くも悪くも太陽光発電が注目を集めた時期。市場が急激に活性化する一方で業界に対する逆風も強い頃でした。私も普及のための仕組みや制度づくりだけでなく、国会議員への説明、政府委員会への参画など、多忙な2年間を送りました。

Q太陽光発電協会から今の会社に

2年間の任期が終了し、三菱電機に戻るという選択肢もありましたが、太陽光発電に関わり続けたいと考え、エクソルで働くことを決めました。太陽光発電市場も、震災前の7～8倍に当たる1兆5000億円以上の規模に成長しています。ブームに乗っただけの参加者は退場し、力のある事業者にはまだまだチャンスがありました。震災以後、海外に資源を依存せず国内だけで創れる自給エネルギーが求められる中、太陽光発電は国の基幹電源として大きく期待されており、引き続きその普及に携わりたいと思っています。

Q芸術活動の支援をされているのですね

世界平和の実現を目指して設立された芸術団体、「稲森アートプロジェクトグループ」の代表を務めています。多くのメンバーが、演劇・音楽・ダンス・美術・太鼓の5つの分野で活動に取り組んでおり、ニューヨークや広島、長崎などの各地で公演などを行っています。

Q学生時代の思い出、学生さんにアドバイス

学生時代は長浜ゼミに所属していました。長浜先生からは、「学校での勉強も大事だが、社会に出てから努力するのも大事。将来的に社会をどうしたいかを考える方が役に立つよ。」と言われたことを覚えています。

学生の4年間で得るものは多いと思いますが、社会に出ると、1日に10時間近く、何十年と働くことになります。入社時点の差も、頑張り次第で、あっという間に逆転出来ます。学生時代は、その起爆剤となるトリガーやモチベーションを蓄える時期だと思います。

また、30年間以上、どうしたら社会の役に立てるかを考えて仕事に取り組む中で、「利他の心」の大切さを痛感しています。太陽光発電がもっと普及すれば、エネルギーセキュリティの面で安心して暮らせる世の中になります。国際紛争軽減にも役立ちます。自分の儲けのためだけに働くのは人生の目的として限界があります。やりがい・生きがい、そして「志」を持つことが大切だと思います。



三井住友銀行
公共・金融法人部長

宮田 直人さん
(新34期)

Q全国大学野球に出場(1985年)したときは4年でエース。大きな話題になりました。

とんでもないことが起きたような雰囲気でした。リーグ戦で優勝し、5リーグの覇者が戦う関西地区のトーナメント決勝で近大に延長サヨナラ勝ちしたんですけど、テレビ中継もされていて、どんどん観客が増えて、その雰囲気ですごったような…。

関西の第一代表、二度とないような話でしたから、神戸へは、お上りさんみたいな感じで行ったような記憶があります。舞い上がっていたのでしょうか、1回戦で負けてしまったんですが、関西で戦っていたときのほうが地に足がついていました。

Q畝傍高校3年のときは、奈良県大会で決勝進出。

野球しかやった記憶がないくらい厳しい練習でした。高校1年の時もベスト8まで進出、3年の時に県大会決勝に。智弁学園との決勝戦は延長12回サヨナラ負けでした。

Qアンダースローは小学生から

当時は阪急ブレーブス全盛で、山田・足立両投手を見て下手投げに。上から投げるよりもコントロールが安定したんだと思います。

高校時代はカーブが一番よくて、大学ではシンカーを覚えて投球の幅が広がりました。

速球派ではなかったのですが、駆け引きで抑えてきたというのがありますから、一発勝負のところでは相手が慣れなかったという部分が大きいです。

1年の秋に、阪大はリーグ戦で創部85年目にして初優勝しました。

Q現在のお仕事は

公共・金融法人部で、全国の自治体と地方銀行や信用金庫などの所管をしています。地方では市役所と地域金融機関とが密接な関係なので、一緒に。金融機関同士でもインターバンク取引や為替ヘッジでカバー取引などの恰好でお手伝いをしています。

安倍政権の中で地方創生が目ざされて、地域を活性化する仕事が多くなっています。人が減っていくのを食い止めて地域に産業を興していくため、ベンチャーの支援をしたり、インバウンド観光への取り組みなど、自治体ごとの特色や課題がありますが、メガの立場で取引先などを紹介しながら地域貢献をしていくのが主な役割です。

Q官と民、中央と地方をつなぐ

兵庫県、神戸市、大阪府とは「地域の連携協定」を結ばせていただいています。神戸市は医療を中心とした企業誘致を進めておられますので、そうした情報を首都圏の企業にご案内したり、地域と地域の外を繋ぐような役割を。

日本の食を輸出するにはどうしたら、というご相談をお聞きすることもあります。

Q先端治療などでもビジネスマッチング

「オープンイノベーション」とか「クロスインダストリー」と言われますが、例えば、東大阪市の町工場の技術を医療に使えないか、専門的な交流の場を提供して少しでもアイデアが膨らんだり、可能性を拡げるお手伝いをするのが仕事かなと思っています。

いろんな技術をメーカーから公開していただいて、興味あるベンチャーや新しいアイデアを持ってもらえる方とビジネスマッチングしていく。

自治体絡みの仕事は5年になりますが、今年は、より具体化していく事業化のステージ、プレイヤーやオペレーターと呼ばれる人たちを取引先から引っ張ってきて、いろんな地域で着実にプロジェクトが立ち上がっています。国の方向性とも合致した、やりがいのある仕事だと思います。

Q三井銀行に入行、社会人野球でも。現在は阪大野球部のコーチを。

三井銀行には野球部があったので、仕事をしながら30歳までノンプロでプレーしていました。どちらかというと、野球を主体に人生を切り開いていった感じがします。

阪大から旧三井銀行に行った人は少なかったんですが、2度の合併で、さくら銀行から三井住友銀行に。

旧住友銀行には阪大時代の知り合いが多かったので、スムーズに入りやすかったです。

勤務のほとんどが東京でしたが、初めて部長をやったのが奈良の法人営業部。「遷都1300年」のイベントでも協力させていただきました。

実は、阪大野球部のコーチを2014年からやっています。全国大会出場時のサードだった歯学部の村上准教授が野球部長をしていて「宮田、手伝え」と。大阪・神戸への出張のときなど月に1、2回ほど、ピッチャー中心に指導しています。

Q若い人たちに贈る言葉があるとすれば

自分で考えて工夫してやろうという人が相対的に少ないと思います。与えられた事をこなす達成率が高いのに、真っ白な事だと止まってしまう人が多い。困難に直面したときに、いろんな手を尽くして、まず自分で難局を打開する意欲を。

野球でも30年前よりも間違いなく技術・レベルは上がっています。「勝とう」という意欲と「負けない」という気持ち、気概を持ってほしいと思います。

1. 同窓会WEB名簿の活用と登録情報の確認のお願い

○WEB名簿の活用

同窓会では、2014年2月から同窓会のホームページにWEB名簿を作成しております。同窓会ホームページのトップページからアクセスし、ログインIDとパスワードを入力すれば会員名簿をご覧いただけます。会員情報の検索のほか、ご自身の会員情報の変更手続きも可能になっております。

同窓会年会費(5,000円)未納の方は、ご本人のデータしか閲覧できません。WEB名簿利用のためにも、同封の払込取扱票により年会費の振込みをいただくようお願いいたします。

年会費を納入いただいた方は、納入いただいた年度と翌年度についても名簿閲覧ができます。(例えば、2017年7月に会費納入いただきますと2019年3月まで閲覧できます)

まだWEB名簿をご覧でない方は、同封のログインIDとパスワードを入力すれば会員名簿をご覧いただけます。是非一度ご覧ください。

「WEB名簿の利用方法」と「WEB名簿使用のルール」につきましては、同窓会ホームページの「名簿について」に掲載しております。ご利用前にご一読いただきますようお願いいたします。

○登録情報の確認

会員データ確認票を同封していますので、登録データをご確認いただき、修正・変更等が必要な場合は、WEBページから変更をお願いいたします。(FAXで同窓会事務局までお送りいただいても結構です)

2. 年会費納入のお願い

同窓会の活動は、会員の皆様の年会費をベースに成り立っております。財政事情厳しい折から、ぜひとも年会費(5,000円)の納入をお願いいたします。

○同封の払込取扱票による納入

昨年度から、同封の払込取扱票により、お近くのコンビニエンスストア(払込取扱票の裏面に記載)もしくは郵便局からご入金いただけます。

ただし、コンビニ収納は定額(5,000円)のみのお取扱いとなります。

協賛金対象の方、あるいは年会費・協賛金と総会懇親会費とをあわせてお支払いいただく場合は、金額が記入され

ていない払込取扱票にご自身で金額をご記入のうえ払込ください。

○口座振替による納入

年会費はアプラスの「オートネットサービス」契約により、銀行等口座からの自動振替が利用できます。

振替日は7月14日です。口座振替をご希望される方は、同窓会事務局までご連絡ください。後日、申込み書類をお送りさせていただきます。

ただし、口座振替は翌年度からとなりますので、今年度につきましては、同封の払込取扱票により払い込みをお願いいたします。

3. 協賛金ご協力のお願い

会則により卒業後(正会員資格取得後)40年を経過した方には、年会費が免除されます。しかしながら、同窓会活動の基盤となる財政状況が厳しい状況から、年会費が免除された方で志のある方には、協賛金のお願いをさせていただいております。

協賛金は1口1,000円で、できれば3口以上をお願いしております。同封の金額の記入されていない払込取扱票によりご入金をお願いいたします。

4. 納入者特典、同窓会会員証(GCCOカード)

年会費あるいは協賛金をお支払いいただいた方には、同窓会会員証(ガーデンシティクラブ大阪(GCCO)カード)を送付させていただきます。

当同窓会では大阪梅田のハービスプラザ6階にあります会員制クラブ「ガーデンシティクラブ大阪」に加入しております。会員証をご提示いただくと、ガーデンシティクラブ大阪をメンバー扱いでご利用できます。

郵送料を節約するため、会員証は隔年発行で有効期限は2年とさせていただきます。

連絡先

大阪大学経済学部同窓会事務局

TEL 06-6850-5275(火・木・金の午後1時~5時)

E-mail machikane@econ.osaka-u.ac.jp

FAX 06-6850-5276

事務局からのお知らせ

■第22回総会(7月1日(土))にご参加ください

今年は、2年ごとの総会の開催年であり、7月1日(土)、リーガロイヤルホテル大阪において開催します。記念講演は、大阪大学総長の西尾章治郎先生にお引き受けいただきました。大阪大学が目指す未来について、興味深いお話が伺えることと楽しみにしております。

冒頭のページでご案内しておりますように、総会、記念講演、懇親パーティーの3部構成で開催します。ご都合の良い時間からの参加でも構いません。この機会に、同期、ゼミ生との旧交を温めていただきたいと思います。同窓会会員の皆様には、友人、知人お誘いあわせのうえ、ふるってご参加いただけますようお願い申し上げます。

■第13回経済学部ホームカミングデイ(4月30日(日))を開催します

毎年5月の連休期間中に開催される全学のホームカミングデイに合わせて、経済学部ホームカミングデイを豊中キャンパスで開催します。

今年は4月30日(日)、全学のホームカミングデイ行事の終了後、13時45分から、経済学部本館中庭会議室で開催します。参加費は1,000円です。詳細につきましては、経済学部同窓会のホームページ(<http://www.machikaneyama.jp>)でご確認ください。経済学研究科長の堂目卓生先生にも出席いただけますので、ぜひお誘いあわせのうえ、ご参加ください。お待ちしております。